



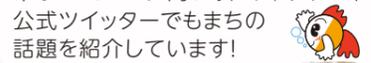
災害対策備蓄用資材の寄付に係る受贈式および感謝状贈呈式を実施しました

丸眞株式会社(名古屋市守山区)より、バスタオルなどの寄付の申し出を受け、受贈式および感謝状贈呈式を実施しました。

寄付していただいたバスタオルなどは、市内の避難所に配備し、災害時に活用させていただきます。



市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



問 市役所防災課(内線 482)

民生委員・児童委員活動強化週間



弥富市民生・児童委員協議会では、「民生委員・児童委員の日」である5月12日にPR活動としてPRグッズの配布を行いました。

また、5月12日からの1週間を「活動強化週間」として、31日までの間パネル展示も行いました。

特徴的な紫陽花



写真は小坂井敦則さんが育てた青紫色のガクアジサイです。この紫陽花、実は周りの花に見える部分は虫などを誘うための装飾花で、中央の小さな粒が本当の花となっています。

梅雨に入り雨が降り続く季節となりましたが、雨にも負けず美しく咲く紫陽花を探しに出かけてみてはいかがでしょうか。

防災クイズに挑戦してみませんか?

問題

気象庁では、洪水発生の危険がある河川に対して水位の危険度レベルを設定していますが、そのレベルは何段階に分かれているのでしょうか?

①
3段階

②
5段階

③
7段階

答えはP17の下をご覧ください。

歴史探訪

六体地蔵

国道23号線の南、ゴルフ練習場の近くに稲元の墓地があり、その中に6体の古い地蔵が並んでいます。この六体地蔵が安置されたのは江戸時代で、右から2番目の地蔵の光背に宝永2(1705)年の刻字があります。稲元は、元禄8(1695)年に大野村(現常滑市)で綿屋を営んでいた平野六兵衛により開拓された新田であるため、当初は大野綿屋新田と呼ばれていました。六兵衛は信仰心の厚い人だったことから、この地蔵は開拓の犠牲者を供養したものであると考えられています。穏やかな顔立ちの六体の地蔵は、今もこの地域を静かに見守っています。



六体地蔵

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。



市長の部屋



青田をわたる風もさわやかな季節となりました。市民の皆さまにおかれましては、お元気にお過ごしのことと存じます。

さて、新鮮な気持ちでスタートした令和4年度も2カ月が経過しましたが、依然として新型コロナウイルス新規陽性者の発生状況は、若干の減少傾向ではあるものの、高止まりの状況が続いております。そのような中、重症化予防を目的と位置付けて、まずは3回目接種から5カ月以上経過した60歳以上と持病のある人など限定で4回目接種を開始します。

これからも、コロナ収束に向け職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

結びに、梅雨入りのニュースが気になる頃です。くれぐれもお身体を大切にしてください。

弥富市長 安藤正明